

**GE横河メディカルシステム
ボルケーノ社と血管内超音波診断装置の
販売で提携
(2007/12/19)**

GE横河メディカルシステム株式会社は12月19日(水)に、ボルケーノ・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、社長:大澤潤一)と、ボルケーノ社製血管内超音波診断装置(以下IVUS)「s5iイメージングシステム」の販売提携で合意した。s5iイメージングシステムは、IVUSを血管撮影装置に取り付けることで、血管撮影室内のワークフローを改善する。従来のIVUSは、重く大きな本体コンソールを臨床使用のたびに移動させなくてはならなかったが、設置型の同システムは、血管撮影装置と同時に起動させ、必要時にすぐに使用可能となる。

同社は、血管撮影装置Innovaシリーズと併せてs5iイメージングシステムを提案することができるようになる。

<ボルケーノ・ジャパン株式会社について>

ボルケーノ・ジャパン株式会社は米国に本社を持つボルケーノコーポレーションが100%株式を所有する日本法人として2004年に設立。IVUS製品の製造販売業者として国内で事業を展開している。

<ボルケーノコーポレーションについて>

ボルケーノコーポレーション(本社:米国カリフォルニア州)は、心疾患や末梢血管疾患に対する血管内治療をサポートするデバイスを開発、製造している。そのひとつであるIVUSでは、超音波血管内診断装置本体、電子スキャン(Phased Array)及びメカニカルスキャン(Rotational)方式の2種類のカテーテル、更にVHTM(組織性状イメージング)をはじめユニークな臨床アプリケーションを、また血流動態評価装置として、装置本体と血流及び血圧評価用各種ワイヤーも提供している。現在、2,700台以上のボルケーノ社製IVUS装置及び血流動態評価装置が世界で臨床使用されている。